

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社ファイブフォー放課後等デイサービス PLUSYOUmarilyn		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 17日		～ R6年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 19名
○従業員評価実施期間	令和6年 12月 4日		～ 令和6年 12月 5日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	落ち着いた空間で視覚覚トレーニングを提供していること。 またアセスメントの結果をもとに個別支援が提供されていること。	個々の希望に合わせ課題を組み立て飽きないようにしています。	定期的に研修と情報の交換をする事でチーム全体の質を上げていきます。
2	基本的なマナーや挨拶を丁寧に教えています。	個別利用型ですが、社会性を身につけるため同時間帯の利用者と関わりを持つ機会(グループ活動)を定期的に設けています。	動画やプロジェクターなどの機材を使い視覚や聴覚から情報力のアップを目指します。
3	四季に合わせた装飾と活動に合わせて環境整備をしていること。	利用児童の希望や願いをくみ取れるように普段から目標の確認や課題の選択を取り入れています。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や、保護者会の開催などにより、保護者同士の交流が設けられるなどの家族への支援、きょうだい向けのイベント開催などきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査していないため、どこまでニーズがあるのかを把握できていない。 1対1の個別利用型のため、それぞれの利用時間にずれがあり、一斉のイベント開催が難しい状況である。	まずはニーズや必要性がどのくらいあるのかをアンケート形式で把握する。ニーズがあれば保護者同士の交流を更に拡げ、兄弟や家族へ向けての支援へと発展させていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が設けられていない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査していないため、どこまでニーズがあるのかを把握できていない。 1対1の個別利用型のため、それぞれの利用時間にずれがあり、一斉の交流イベント開催が難しい状況である。	まずはニーズや必要性がどのくらいあるのかをアンケート形式で把握する。ニーズがあればどのような形での交流が可能かを検討する。
3			